

### 3密を避け、授業の遅れを取り戻しながら 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

生活科  
総合的な学習の時間

「〇〇ができない」と思うよりも、「こんな時だからこそ挑戦したい」という気持ちを大事にして、生活科・総合的な学習の時間を充実させましょう！

夏が呼んでる  
今こそ外へ出よう！



違う形の  
葉っぱが  
出てきたよ。



どうして  
おたまじゃく  
しに足がはえ  
てるの？

ちよつとずつ  
動いている  
よ。土に動い  
た跡がついて  
るね。



芽がなく  
なってる！  
どうしたん  
だろう？

密を避けるなら、外に出るのが一番！

春とは野や植物の様子が変わってきました。教室で春の姿を思い返したら、さあ出発です。子どもたちは「春との違い」に気づくはず。中には、先生にとっても思いがけない気づきがあるかもしれませんね。思わず「何を見つけたの？」「すごい、みんなにも教えてあげよう。」と発してしまうやわらかい心でいたいものです。マスク着用による熱中症には、十分に気をつけてくださいね。

現実の課題を子ども  
たちと乗り越える

鳴き声がうるさいっ  
て注意されちゃっ  
た……。でも小屋を  
閉め切ったら鶏だっ  
て暑いよね……。



今だからこそ  
ぼくたちが学校や社  
会のためにできるこ  
とってないかな？

乗り越えなくてはならない「こと」と向き合ったとき、子どもたちは動き出します。コロナ禍の今だって、社会全体で向き合わないといけない課題ですよ。どんな時でも、子どもたちの気づきや、材が訴える声なき声にアンテナを張りめぐらせましょう。そうした教師の構えが、主体的な学習の機会を生み出します。

学校でできること

個でもできること

例えば...道徳科での追求

A 小学校の取組 主題名：「誠実に明るく生きて」 A (2)

教材名：「手品師」 対象：小学6年

ねらい：自他にとってよいと判断したことを自らが貫くことで、後悔なく明るく生きることができると知り、そんな生き方を目指したいという意欲がもてる。



学校でできること(追求への動機付け)

個でもできること(内容把握, 感想記入)

導入



学校での先生の指示

金曜日：帰りの会 等  
「『手品師』を読み、感想を書いてきてね。できればおうちの方にお話の内容を伝え、感想を伺ってきてほしいな」



子どもが教材を読み、感想をもつ

土曜、日曜日：自宅  
あらすじや場面絵を参考にしながら、教材「手品師」を読み、感想を記入する。またあらすじを基に家族に内容を説明し、感想を尋ねる。



手品師は大劇場を選べばいいのに。なぜ大劇場を断ったのだろう？

○指示の際の留意点

- ・感想記入用紙には、教材のあらすじ(中心場面はあえて省略したもの)と場面絵をつけておく。
- ・保護者に感想を尋ねることは無理強いしない。

学校でできること(多様な価値観の交流, 自身の納得解を導き出す動機付け)



授業での先生の指示

月曜日：道徳授業  
「『手品師』を読んだ感想を聞かせて」

先生の支援

「友人からの誘いを受けていた時、手品師も今、みんなの感想と同様の様々な思いを抱いていただろうね。でも、手品師は大劇場ではなく、男の子との約束を選んだのはなぜだろうね？」

手品師は男の子との約束を守ってすごいな。

男の子を大劇場に誘うとか、有名になって招待すればいいと思った。

ぼくも同じ！大劇場に誘えばいいと思うな。

私だったら大劇場を選んでしまうかも…。なぜ、手品師は男の子を選んだのかなあ？

なぜ...男の子を...?

本時の学びのテーマ：「手品師はなぜ男の子との約束を選んだのだろう」

展開



約束は大事だから。



たまたま出会った男の子との約束を選んで、手品師は後悔しているよ。



先生の支援

「男の子との約束を選んだ手品師は後悔しているのかなあ？(手品師が手品をする最後の場面絵を指して)男の子の前で、笑顔ですばらしい手品をしているよ」



1回会っただけの男の子との約束がそんなに大事？



え!?



手品師は後悔はしていないと思う。だって自分が男の子の約束を守ると決めてやっていることだし、もしも、大劇場を選んだら、ずっともやもやして、そっちのほうが後悔しちゃうかも。



約束は大事だけど...



先生の支援

「『ずっともやもやして』という彼女の思いについて、どう思いますか？わたしも考えたいな。あと、本時の学びのテーマについて、今のあなたのとらえも自宅で書いてきてほしいな。」

学校でできること(成長の評価)

個でもできること(納得解を導く)

終末

先生の支援

感想記入用紙を回収した後：適宜道徳性に係る成長を感じる記述にコメントを添える。学級通信等で成長を紹介し、それについて児童や保護者に感想を促す。

仲間の思い、テーマについての自身の思いを書く

授業後：自宅  
導入で扱った感想記入用紙の続きに思いを記入。



もやもやした思いですっというのはぼくも嫌だ。彼女の気持ち分かるな。



上記は道徳科の学びで学校でできること、個でもできることの一例です。なぜ、学びに他者が必要なのか、子どもが他者を欲するときは授業の中で、いつか、なぜか？今までとは異なる場に私たちは在るからこそ、今、そういったことを見いだせるチャンスと考えます。「みんなで学ぶ」意義を同僚と語り、自身の納得解を見いだしましょう。コロナ禍が去った時に学ぶ楽しさを子どもがさらに味わえるようにするためにも。